

2017年6月2日

2017年世界自閉症啓発デー

1、団体名：久留米市自閉症児・者 親の会

2、事業内容：

世界自閉症啓発デー 講演会

「幸せのたねをまこう一実りのある生活のために」

講演1、門田光司先生「障害者差別解消法で支援の場がどうかわるのか？」

講演2、長田陽一先生「共に生きるために

～学び方の違いを理解することから」

3、日時：平成29年4月22日

4、場所：久留米市 石橋文化会館 小ホール にて

5、主催：久留米市自閉症・者 親の会

共催：福岡県発達障害者支援センター

6、感想：

福祉の分野から門田先生に今までの支援の在り方と具体的なこれからの支援体制をコンパクトにまとめていただきお話を伺いました。

子どもの将来をあきらめかけていた保護者の方々は、大学進学という希望がもて、少しずつ社会の中で支援体制が整えられていっていることを知り、子育てをしていく前向きな気持ちをもたらったということでした。

また、長田先生は、療育をされる医師の立場から、左利きの少数派、右利きの多数派の例をあげられ、世の中の少数派が持つ生きにくさを様々な角度から教えていただきました。

そして学び方の違いがあることをふまえ、では、どのような支援ができるのか各々が考える機会をくださいました。

福祉・医療・教育・保護者・当事者など様々な立場の方に来ていただき、心強さをいただきました。



講演会風景



門田光司先生



長田陽一先生